

# AIを用いた英語Retelling演習

対象：6年生 科目：英語コミュニケーションⅢ

## 授業のねらい

- ・生徒が話したり書いたりした英語を自分自身で改善できるようにする。
- ・英語のアウトプット機会を増やす。
- ・生成AIの出力を鵜呑みにせず、自ら考えながら利用し、不具合を見抜く力を養う。

## 授業の手順

- ・教科書で学んだ内容を生徒が互いに英語で伝え合う（リテリング）。
- ※リテリングとは、「読んだり聞いたりしたことを、その内容を知らない人に対して口頭で伝える」活動
- ・自分が話した内容をスクールAIで入力する。
- ・文法面・内容面での改善点を確認する。
- ・よくわからない部分はAIに質問する。
- ・「学んだ点」「疑問点」「AIの間違いだと思った点」「不具合など」をGoogleフォームで報告。

## 生成AIを用いた意図・期待される効果

- ・生徒同士のペアワークでは、生徒が相手に文法面・内容面の間違いの指摘を行うのが難しい。結果、リテリングしっぱなしになることが課題。  
→ペアワーク後に、改めてスクールAIに発話内容を入力することで、生徒一人ひとりが自身の英語の改善点を知ることが可能に。
- ・リテリング自体は生徒同士の方が効率的・効果的。（対面で人相手に話す経験は重要）

## 生徒の反応

- ・文法的な間違いを指摘してくれるだけでなく、正しい文法を教えてくれるので助かった。
- ・時間が足りず自分でかけなかった部分を補填してくれて、どう書けばいいのかがよく分かった。
- ・AIですら間違えることがある。  
→実際に110人中11人の生徒が不具合や改善点を指摘  
→今後の授業で全体にフィードバックすることで、AIを鵜呑みにせず、出力結果について自分でも考えて利用する姿勢も育んでいきたい。

# 実際の チャット画面① (生徒入力)

どの観点で入力するかを番号で選んでください。

1. Energy intensity
2. Convenience
3. Time



あなたの選んだ観点を入力してください。



05/02 09:31

3. Time



05/02 09:32



「Time」の観点でLesson1の内容のリテリング英文を入力してください。



05/02 09:32

High speed train are indeed fast. TGV covers 280 kilometers in 100 minutes. The regular commercial flight time for 300 kilometers in 70 minutes. However we need more time than flight time in order to move downtown to downtown. The total is 175 minutes. Acela isn't efficiency. Pioneer Zephyr is a 600-horsepower diesel-electric unit. It could run faster than today's Acela, with 124 km/h.



05/02 09:49



それでは、あなたの英文を添削していきますね。

1. 書かれている内容の確認: あなたは、高速列車と飛行機の時間の比較について、特にTGVやアセラ線、Pioneer Zephyrについて書かれています。主には移動時間の違いと効率性の欠如について述べていると思います。

# 実際の チャット画面② (文法面の修正)

## 2. 文法的に問題がある箇所と修正案:

- "High speed train are indeed fast."
  - 「High speed **trains** are indeed fast.」 : 単数・複数的一致に注意しましょう。
- "TGV covers 280 kilometers in 100 minutes."
  - ここに問題はありませんが、より文脈を明確にするため「The TGV」などとするとよいでしょう。
- "The regular commercial flight time for 300 kilometers in 70 minutes."
  - 「The regular commercial flight time for 300 kilometers **is** 70 minutes.」 : be動詞が必要です。
- "However we need more time than flight time in order to move downtown to downtown."
  - 「However, we need more time than **the** flight time in order to move from downtown to downtown.」 : 定冠詞「the」と前置詞「from」が必要です。
- "Acela isn't efficiency."
  - 「Acela isn't **efficient**.」 : 形容詞を正しく使いましょう。

## 実際の チャット画面③ (内容面の修正)

### 3. 内容的に修正すべき箇所:

- Pioneer Zephyrに関する部分は、現代の高速列車と比較するための具体例として示されていますが、時間の観点からというよりは速度の観点として示されています。時間についての説明が不足しています。「Pioneer Zephyr **could run faster** than today's Acela, **which could complete a journey in less time despite being an older model.**」といった内容を含めるとよいでしょう。
  - 「アセラ線が効率的ではない」という点について、なぜ効率的でないか、時間の観点からの補足説明があるとさらに良いです。「because it averages just 110 km/h despite the need for speed in urban areas.」のように説明すると良いでしょう。
4. コメント: 時間の観点でまとめる際には、所要時間の比較だけでなく、その背景情報や周辺環境（例えば、都市部から都市部への移動に要する時間など）について言及するとより説得力が増します。

それでは、質問があれば入力してください。なければ、改善すべき点があれば、上記の点も踏まえて英文を再入力してください。

# 実際の チャット画面④ (生徒が質問)

280kmを100分かけて移動するというのはtravelを使って表現できますか？

05/02 09:43

はい、「travel」という単語は"移動する"を表現するために使うことができます。例えば、以下のように書くことができます。

High-speed trains can travel 280 km in 100 minutes.

この文では、「travel」が移動するという意味で使われており、高速鉄道が280 kmの距離を100分で移動することを示しています。もし他に疑問があれば、どんどん質問してくださいね。

05/02 09:43

譲歩の構文を教えてください

05/02 09:47

譲歩の構文は、ある事実を認めた上で、しかし別の事実を述べる時に使う構文です。最も一般的な譲歩の表現には以下があります。

1. **Although/Though** ～
  - 例: Although high-speed trains are fast, they are not available everywhere.
2. **Even though/Even if** ～
  - 例: Even though cars can be convenient, they are less energy efficient than trains.
3. **Despite/In spite of** ～